



帝京平成大学 大学院

# 臨床心理学研究科

臨床心理学専攻 専門職学位課程

GUIDE BOOK 2027

GRADUATE SCHOOL OF CLINICAL PSYCHOLOGY,  
TEIKYO HEISEI UNIVERSITY PROFESSIONAL  
DEGREE PROGRAM IN CLINICAL PSYCHOLOGY

# 入口は資格取得、 その先は心理臨床の実践家へ。

— 多様なキャリアの  
基礎づくりを支援します —

## PROFILE

臨床心理学研究科長 教授

**馬場 洋介**

BABA HIROSUKE



1986年一橋大学社会学部卒業。2014年神奈川大学大学院人間科学研究科臨床心理学博士後期課程修了。

1986年より株式会社リクルートに入社し、人事部（メンタルヘルス担当）等で勤務。2011年より株式会社リクルートキャリアコンサルティング（障害者の再就職支援担当）勤務を経て、2018年より当大学院臨床心理学研究科教授。2022年より現職。

### 【専門領域】

産業メンタルヘルス（職場不適応、職場復帰支援等）  
就労支援（中高年、精神障害等）  
中高年のキャリア発達

### 【役職】

日本キャリア・カウンセリング学会会長  
臨床心理分野専門職大学院連絡協議会会長  
日本臨床心理士養成大学院協議会理事  
日本産業心理職協合理事（研修企画担当）、  
産業ソーシャルワーカー協会理事など。

## 研究科長挨拶

心の問題を抱える人のお役に立ちたい、その出発点は資格取得です。私たちは、これまで蓄積したノウハウを活かして、臨床心理士と公認心理師の資格取得への充実した支援を提供し、直近3年間の修了生の平均合格率は、臨床心理士98%、公認心理師97%であり、高い合格率の実績があります。

即戦力としての臨床心理士・公認心理師の養成は、本学の建学の精神である「実学」の趣旨に沿うものです。この目的を達成するため、本研究科では、付属の臨床心理センターにおいては多彩で豊富な事例担当を手厚いスーパービジョンを受けながら経験し、学外の実習機関においては豊富に実践経験する機会を提供しています。

2026年度は、専任教員12名と臨床心理センターカウンセラー4名を配置し、院生一人ひとりに専任教員のアドバイザーをつけ、マンツーマンのきめ細かな指導を行います。アドバイザーは、心理臨床の実践家としての一歩を踏み出すための、力強いサポーターとなります。

就職活動についても、学内の就職支援室と連携して就職ガイダンスを開催し、個別にもキャリア相談を実施するなど、きめ細かくサポートしています。その結果、修了生の就職先は、医療機関をはじめ、県庁・区役所等の自治体、子ども家庭支援センター、教育支援センター、および、児童養護施設等、多岐に渡ります。心理臨床の初心者が次第に心理臨床のプロフェッショナルとして成長していく姿を見るのは、私たち教員のやりがいでもあります。私たちは臨床心理の実践家の志と意欲を持つ方々を院生として迎え、心の問題を抱える人々への適切な支援と一緒に考えることを楽しみにしています。

## 臨床心理士・公認心理師になるには？

臨床心理士になるには、「公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会」が実施する資格審査に合格する必要があります。資格審査を受けるためには、同協会が「臨床心理士資格審査規程」第8条で定めた受験資格基準のいずれかを満たすことが必須です。専門職大学院の修了者は「学校教育法に基づく大学院において、臨床心理学またはそれに準ずる心理臨床に関する分野を専攻する専門職学位課程を修了した者」に該当します。資格審査は、一次試験（〈筆記〉「多肢選択方式試験」及び「論文記述試験」）と二次試験（口述面接試験）によって行われますが、専門職大学院の修了者は、一次試験のうち、「論文記述試験」が免除されます。2018年度から公認心理師にも対応した授業を行っており、受験資格がある方には両方の資格試験に合格できるよう学修の支援を行っています。

公認心理師の受験資格については、一般財団法人 日本心理研修センターのHPでご確認ください。

## 専門職大学院の3つの特色（詳細はP.02）

### 特色1

臨床心理士と公認心理師の  
資格取得へ手厚い支援

### 特色2

座学だけでなく  
多様な臨床現場に対応できる  
質の高い実習

### 特色3

きめ細かな個人指導体制

## 臨床心理士・ 公認心理師を目指すなら、 東日本で唯一の 臨床心理専門職大学院。



### 専門職大学院の メリット

「公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会」による  
臨床心理士資格審査（一次試験〈筆記〉）のうち「論文記述試験」が免除となります。

### 学位・進学等について

臨床心理修士（専門職）の学位授与。  
本大学院「健康科学研究科臨床  
心理学専攻（博士課程）」への進学が可能。

### 特色 1

#### 臨床心理士と公認心理師の 資格取得へ手厚い支援

資格を取得し、専門性と実践能力を磨きたい方に、最適な環境があります。

帝京平成大学大学院臨床心理学研究科は、2011年4月に東日本で最初の臨床心理専門職大学院として開設されました。本研究科では、様々な現場の問題に的確に対応できる即戦力としての臨床心理士・公認心理師の養成に重点を置いた教育を実施しています。資格取得のための手厚い学修支援はもちろん、臨床心理の理論的教育をきちんと行ったうえで、特色2・3で述べるような外部実習、臨床事例の担当、事例研究などを通じて、心理職として問題を的確に評価し、適切に関わる態度や能力を養成します。修了者には、「臨床心理修士（専門職）」の学位が授与されます。また、「公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会」の臨床心理士受験資格が与えられ、一次試験〈筆記〉のうち「論文記述試験」が免除されます。さらに、本研究科の「健康科学研究科臨床心理学専攻（博士課程）」への進学が可能です。大学院入学前に公認心理師法に定められた所定の科目を履修し要件を満たす方は、本研究科を修了すると公認心理師の受験資格が与えられます。公認心理師の受験資格については、一般財団法人 日本心理研修センターのHPでご確認ください。

### 特色 2

#### 座学だけでない多様な臨床現場 に対応できる質の高い実習

学外実習と手厚いスーパービジョンを受けながら学内の臨床心理センターで事例担当を経験。

本研究科の教育課程では、学内の付属臨床心理センターの「臨床心理面接実習」と、学外の協力機関で実施する「臨床心理地域援助実習」により、現場の多様なニーズに対応できるスキルを修得する機会を提供しています。「臨床心理面接実習」では、「臨床心理センター」において、教員及びカウンセラーによる指導のもと、様々な問題や障がい、疾患を抱えたクライアントへのアセスメント、支援、介入について学びます。これらは、面接場面への陪席からスタートし、セラピストとして面接を担当する段階まで、院生の知識やスキル向上のレベルを踏まえて次第にステップアップしていきます。また、教員とカウンセラーによるスーパービジョンとカンファレンスによって心理職の専門性を身につけ、事例研究の方法も学びます。「臨床心理地域援助実習」では、多くの関係機関の協力により、医療・福祉、地域保健・産業、学校・教育の3領域の現場において多様な業務を経験し、指導を受けることができます。現場の様々な課題に真剣に向き合い、謙虚に学び、向上していくことのできる専門家の養成を目指します。

### 特色 3

#### きめ細かな個人指導体制

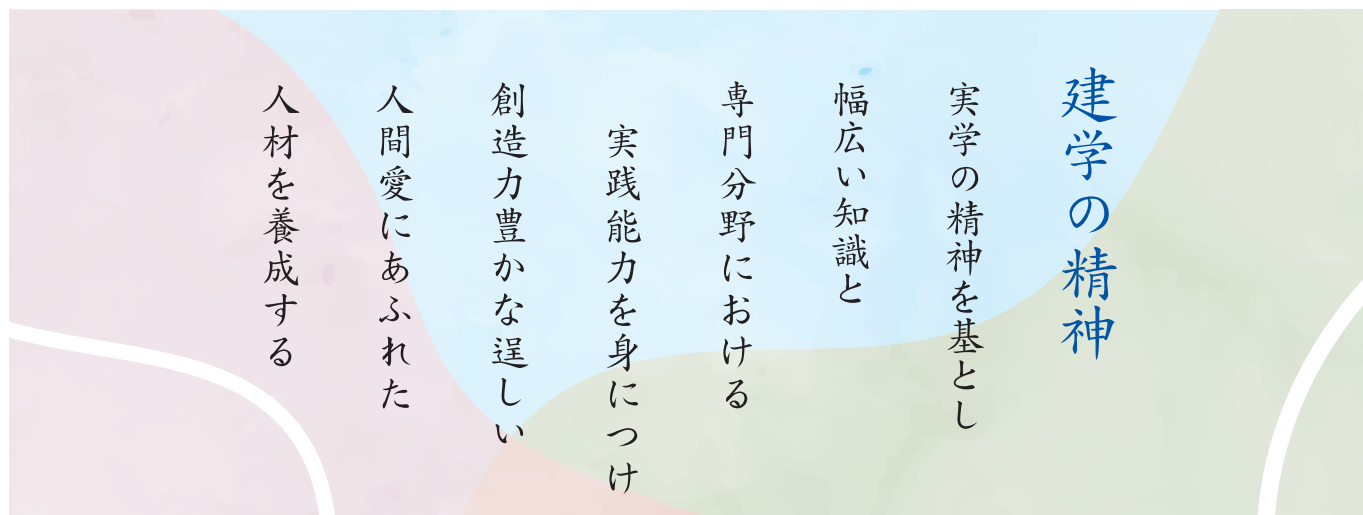
研究科教員とカウンセラーの指導体制がスキルアップを支えます。

本大学院では2学年で34名の大学院生に対し、12名の研究科教員と4名の臨床心理センターカウンセラーを配置し、院生一人ひとりに指導教員をつけ、きめ細かな指導を行います。個人ごとの指導教員はアドバイザーと呼ばれ、履修指導や学修面、生活面、実習に関する相談等を行い、臨床家としての一歩を踏み出すための、力強いサポーターとなります。また、「臨床心理センター」での学内臨床実習では適切に面接を行えるよう、スーパービジョンを受けることができる体制を整えています。本大学院生は、クライアントを担当し、心理面接・遊戯療法・心理検査等の様々な臨床実践を積んでいきますが、アドバイザーは、授業で学んだ知識や理論と臨床実践で得た経験とを関連づけ、整理して理解を深めることができるように手助けします。臨床事例報告の作成にあたっては、事例研究指導者が個別指導を行っています。

## 専門実践教育訓練給付金の案内

本学臨床心理学研究科 臨床心理学専攻（専門職大学院）は、社会人ならびに社会人経験者の皆さまのキャリアアップを支援するため、「専門実践教育訓練給付制度」の対象講座として指定を受けております。本制度は、労働者の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度の一つです。（2021年4月入学生より適用。2029年9月末まで有効）詳細は、P.14および厚生労働省のHPをご覧ください。

## 建学の精神・ポリシー



## 基本理念

### 1 帝京平成大学の基本理念

- ①人文・社会科学と自然科学に均整のとれた教養教育を通して人間愛を培い、広聴心を涵養し、専門的能力を人類の幸福・福祉のために的確に適用できる健全な人格を養成する。
- ②自立と不撓不屈の精神を養い、実学的に幅広く高度な専門知識と学際的な問題解決能力を備え、創造性に富む人材を育成する。
- ③専門の学術を深く研究して成果を世界的に発信するとともに、大学の人材、施設を活用して地域社会との交流と貢献に努め、人類の発展に寄与する。

### 2 大学の使命・目的

建学の精神に則り、広く知識を授け人格の陶冶を図るとともに、深く専門の学術を教授・研究し、国際的視野に立って日本国の発展に貢献できる有為な人材を養成することを目的とする。

### 3 大学院の使命・目的

建学の精神に則り、情報科学、健康科学、臨床心理学、薬学及び看護学に関する学理及び応用を教授・研究し、その深奥をきわめ、広く国際的視野に立って社会の発展に貢献できる有為な人材を養成し、以って文化・医療の進展に寄与することを目的とする。

### 4 教育理念・目的

臨床心理学研究科は、本学の建学の精神に則り、専門職学位課程として、実学の精神を基として、豊かな人間性を持ち、多様で複雑な心の問題に創造的で柔軟に対応できる臨床心理分野の高度専門職業人を養成する。

### 5 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

臨床心理学研究科 臨床心理学専攻（専門職学位課程）の「実学の精神を基として、豊かな人間性を持ち、多様で複雑な心の問題に創造的で柔軟に対応できる臨床心理分野の高度専門職業人を養成する」という教育理念と目的を達成するため、以下の入学者を求める。

- ①人と心に対する深い関心と理解力を有している。
- ②柔軟で安定した対人関係能力を有している。
- ③社会人としての良識と対人援助を行う専門家としての高い倫理観を有している。
- ④臨床心理学の高度専門職業人を目指す強い意欲を有している。

## 概要

|           |                                                                                                                                                               |       |                    |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------|
| 研究科・専攻の名称 | 帝京平成大学大学院<br>臨床心理学研究科 臨床心理学専攻<br>Graduate School of Clinical Psychology,<br>Teikyo Heisei University<br>Professional Degree Program<br>in Clinical Psychology | 修業年限  | 2年                 |
|           |                                                                                                                                                               | 修了要件  | 50単位（必修含む）         |
| 課程        | 専門職学位課程                                                                                                                                                       | 教員    | 専任教員12名（2026年4月現在） |
|           |                                                                                                                                                               | 入学定員  | 15名                |
| 学位の名称     | 臨床心理修士（専門職）<br>Master of Professional Clinical Psychology                                                                                                     | 収容定員  | 30名                |
|           |                                                                                                                                                               | 在籍学生数 | 34名                |

# 心理専門職で活躍できる 高度な実践家を 養成します。

本研究科では、3つの領域に基づき、  
実践家の養成が行われています。



## SPECIAL MESSAGE 活躍する実践家からのメッセージ

**幅広い視野と**

**産業領域での実践力を**

**広げることができた**



修了生 **玉澤 知恵美**

TAMAZAWA CHIEMI

勤務先：一般社団法人  
心理支援ネットワーク心PLUS

外部EAP(従業員支援プログラム)機関で、企業の方と協同で問題や課題の解決に取り組んでいます。私は大学生の頃から、既にカウンセラーが多くいる学校や病院ではなく、まだ心理職が浸透していない産業領域で働きたいと思っていました。本研究科を選んだのは、産業領域を専門に学べる数少ない大学院だったから。専門職大学院ということで、実践的な力を身につけられると思いました。在学中は自分が担当したカウンセリングケースをもとに事例研究を行い、自身の臨床を研究的視点で振り返る貴重な経験を得ました。また、産業領域にとどまらず、様々な領域の実習を経験できたことが、いまとなっては自分の財産になっています。実際に現場に出て働いてみると、他領域を知る機会は減ってしまいますので、学生のうちに経験できたのは大きかったです。産業領域で活躍する心理士はまだ少数ですが、これから発展していく領域だと思います。なかなか成果が見えにくいところもありますが、実習で様々な臨床場面にふれることができたおかげで、どんな現場でも物怖じせずに取り組めています。また、幅広い授業内容を聞くことができたので、多様なクライアントの理解に繋がっています。



事務作業の様子



カウンセリングの様子

# 医療・福祉

MEDICAL CARE AND WELFARE

医療現場で専門性を活かし、  
様々な医療従事者と連携するために  
必要となる技能を学びます。

医療現場で臨床心理の専門性を活かしながら、チーム医療の一員として信頼される心理職となるための指導を行います。精神疾患への対応だけでなく、身体疾患に伴う心理的課題に関しても、的確にアセスメントを行い効果的に介入できるようになることを目指します。医療制度や医療従事者の役割を理解し、チーム医療の一員として多様な職種と連携して協働できる多角的な視野と柔軟な思考力をあわせ持った即戦力となる専門家を養成します。



## 活躍のフィールド (例)



精神科・心療内科



リハビリテーション科



がん医療等の心理職



福祉施設の職員等

## 主な実習先

- 病院・クリニック (精神科・心療内科他)
- 福祉施設等

## 在学生からのメッセージ

学びだけでなく

生活面のサポートも。

安心して学業に励める。



溝内 悠里 MIZOUCHI YURI  
医療・福祉2年

大学卒業後、医薬品の営業職に就きました。そこで慢性疾患や不妊治療をする患者さんの心理支援が必要だと痛感し、大学院に進学することを決意しました。本研究科を選んだのは、即戦力として現場に出られる力をつけられるからです。実習のサポートが手厚く、学内ケースのカウンセリングでは、1回の面接につき1回スーパーバイズを受けることができるなど、理論と実践を紐付けて考えることができます。また、カンファレンスではたくさんの教員の意見をもらえるので、学派にかかわらず様々な視点を取り入れられる点が大きな魅力です。アドバイザー制度があり、学業だけでなく生活面でのサポートがあるのも、安心して学べるベースになっています。

## 修了生からのメッセージ

大学院での学びが、

ひと筋縄ではいかない

臨床の支えに。



菊池 瑞 KIKUCHI SUI  
勤務先：四谷ゆいクリニック

臨床心理士、公認心理師の両方の資格を取得したいと思い、より臨床に根ざした学びを経験できる本研究科を選びました。私は、未成年が親に連れてこられるという来談が、クライアントの自律の過程でどのように変化するかを研究テーマとして扱いました。臨床の現場に立っているからこそ、指導を受けながら担当ケースを客観的に捉え直す機会を得られたと思います。「医療・福祉」「地域保健・産業」「学校・教育」といった複数の領域別に実習を受けられたので、クライアントを多角的に見立てる目も養われました。現在は外国人初診患者が8割を占めるクリニックで心理士として働いています。ひと筋縄ではいかない臨床で迷うこともありますが、院での学びが支えになっています。

## 教員紹介（専門領域：医療・福祉）

（2026年4月1日現在 在籍教員）

## 多職種チームで信頼される心理職に。

## 主な担当授業

- 事例研究実習Ⅰ・Ⅱ

## 専門

- 精神医学・臨床心理学・リハビリテーション
- 退院と地域生活支援、デイケア、SST、チーム医療

安西 信雄 教授 ANZAI NOBUO  
精神科医／精神科専門医／精神科指導医／  
精神保健指定医／SST普及協会認定講師



## 身につけた知識と実践力は、必要とされる喜びに変わります。

## 主な担当授業

- 臨床心理査定実習Ⅰ・Ⅱ ●臨床心理査定実習Ⅰ・Ⅱ
- 総合的事例研究実習Ⅰ・Ⅱ ●発達心理学特論

## 専門

- 臨床心理学 ●発達障害支援 ●認知行動療法
- マインドフルネス ●スポーツ心理学
- アスリートのパフォーマンスとメンタルヘルス
- パラスポーツ支援

有富 公教 講師 ARITOMI KIMINORI  
臨床心理士／公認心理師



## こころの傷つきを支える臨床の基礎を丁寧に学びましょう。

## 主な担当授業

- 臨床心理面接実習Ⅱ ●臨床心理学原論Ⅱ
- 思春期・青年期特論 ●総合的事例研究実習Ⅰ・Ⅱ
- 臨床心理面接実習Ⅱ・Ⅲ ●臨床心理地域援助実習Ⅰ・Ⅱ

## 専門

- 臨床心理学 ●認知行動療法
- トラウマ関連疾患の心理療法 ●感情調整

丹羽 まどか 講師 NIWA MADOKA  
臨床心理士／公認心理師



## 専門職の知識と温かい心を持つ実践家として。

## 主な担当授業

- 事例研究実習Ⅰ・Ⅱ ●臨床心理面接実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 臨床心理地域援助実習・実習
- 精神医学特論 ●神経心理学特論

## 専門

- 統合失調症脳基盤研究、思春期・若年の精神疾患
- 当事者の就学・就労・社会参加支援、
- 産業メンタルヘルス

管 心 教授・臨床心理センター長 SUGA MOTOMU  
医師／精神保健指定医／日本医師会認定産業医／  
精神科専門医／精神科専門医指導医／難病指定医



## 支援の基礎となるアセスメントをしっかりと学んでいきましょう。

## 主な担当授業

- 臨床心理査定実習Ⅰ・Ⅱ ●臨床心理査定実習Ⅰ・Ⅱ
- 総合的事例研究実習Ⅰ・Ⅱ

## 専門

- 認知行動療法、心理査定、地域援助、統合失調症、発達障害

江口 聡 講師 EGUCHI SATOSHI  
臨床心理士／公認心理師／精神保健福祉士



# 地域保健・産業

COMMUNITY HEALTH AND INDUSTRY

地域住民や労働者の健康問題について、関連する法令・制度等を踏まえた心理的实践について学びます。

地域住民や職場における労働者の精神的健康の向上を図り、精神的健康問題に取り組むことのできる心理職を目指します。精神的健康問題の把握方法やアセスメント、精神病理、組織への働きかけ、さらには関連する法令・制度等について理論と事例を基に学びます。

個人の能力だけでなく、関連する専門家等と連携しながら現場の資源や制度を活用したり、組織の改善を行うなど実践力を柔軟に発揮できる専門家を養成します。



## 活躍のフィールド (例)



行政機関の心理職



民間相談・  
支援機関の相談員



EAP機関の職員

## 主な実習先

- 行政や民間の相談・支援部門
- EAP機関等

## 在学生からのメッセージ

産業とスポーツを支える

心理職の専門性を

磨く学び

**小森 直幸** KOMORI NAOYUKI  
地域保健・産業2年



臨床現場に限りなく近い経験をしたと考えていたところ、東日本唯一の専門職大学院である本研究科を見つけ、進学を決めました。私は論文の書き方や構成に不安があるのですが、本研究科では事例論文を教員の指導のもとで作成できるので不安を軽減できます。実習面での私の主領域は産業分野。スタッフとしての自覚を持ちながら相談者と向き合ったり、研修会で発表させていただいたり、貴重な経験を積ませてもらっています。それ以外の領域の学びでも主体的に考え行動することが求められ、非常に高い価値を感じています。アスリートのカウンセリングやメンタルトレーニングなどを手がけるのが将来の展望。そのためにまず医療・産業の現場で専門家としての技量を高めたいと思っています。

## 修了生からのメッセージ

その人らしく過ごす

サポートに、

学んだ知識と経験が

生きている。

**竹中 愛祐美** TAKENAKA AYUMI  
勤務先：特定非営利活動法人  
メンタルケア協議会



充実した臨床実習や幅広い領域を深く学べるところに魅力を感じ、進学しました。本研究科の大きな特徴は、実学の精神に則った学びの場が整っているところ。付属の臨床心理センターでは実際にケースを担当し、クライアントの揺れ動く感情の波の中に身を置く経験ができました。心理検査も実際に行えるため、卒業後、どの分野に進んでも即戦力となると思います。現在は夜間こころの電話相談およびSNS相談などに携わっており、心を支えながら暮らしを守る支援機関に繋げることも行っています。相談者は10代から80代と幅広く、背景事情も様々ですが、本研究科で法や制度の活用についても身につけることができたため、多領域と連携しやすく、その人がその人らしく生きるお手伝いできています。

## 教員紹介 (専門領域：地域保健・産業)

(2026年4月1日現在 在籍教員)

実践的学びから  
現場で活躍できる専門家に。

### 主な担当授業

- 臨床心理学原論I
- 産業・労働分野に関する理論と支援の展開
- 臨床心理地域援助演習I・II
- 総合的事例研究演習I・II

### 専門

- 産業メンタルヘルス(職場不適合、職場復帰支援等)  
就労支援(中高年、精神障害等)  
中高年のキャリア発達

**馬場 洋介** 教授・臨床心理学研究科長  
BABA HIROSUKE  
臨床心理士/公認心理師/産業カウンセラー/  
キャリアコンサルタント/中小企業診断士



遊び心をもって、  
心の世界を探検しましょう!

### 主な担当授業

- ソーシャルワーク特論
- 臨床心理学原論II
- 臨床心理学研究法

### 専門

- 臨床心理学、幼児期への支援

**杉浦 貴代子** 准教授  
SUGIURA KIYOKO  
臨床心理士/公認心理師



信頼性の高い心理査定を  
目指しましょう。

### 主な担当授業

- 臨床心理査定演習II ●臨床心理査定実習II
- 臨床心理学研究法
- 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践

### 専門

- 心理査定、感情心理学
- 感情体験のメカニズムおよび感情体験の効用を活かした心理的介入に関する研究

**大久保 智紗** 講師  
OKUBO CHISA  
臨床心理士/公認心理師



# 学校・教育

SCHOOL AND EDUCATION

教育現場や家庭など、  
様々な環境を踏まえ、  
子どもの心理的援助について  
座学と実践を通じて学びます。

教育現場や家庭、地域社会において、子どもの心の問題の理解や取り組みだけでなく、それぞれの力を発揮できる環境を構築するために必要な知識、技能、倫理、態度等を学びます。また、教育施設での実習で経験し学んだことを全員で共有し、子ども個人のみならず、取り巻く環境に目を向けてディスカッションを実施し、豊富な知識と実践的で高いスキルをそなえた専門家を養成します。



## 活躍のフィールド (例)



小中高等学校の  
スクールカウンセラー



療育センターの  
発達相談員



適応指導教室の  
心理職



心理教育相談員

## 主な実習先

- 適応指導教室
- 教育センター
- 小中高等学校等

## 在学生からのメッセージ

3領域での実習が面白い

予防の視点から

家庭を支える心理職に

**梅田 真渡** UMEDA YAMATO  
学校・教育2年



児童虐待問題の心理支援に関心があり、予防的な視点で家庭を支えられる心理職になりたいと考え、大学院進学を決めました。学びで最もメリットを感じているのは、「医療・福祉」「地域保健・産業」「学校・教育」の3領域での実習です。心理職がどんな現場で活躍しているのか自分の目で確かめることができますし、学び・ケース・実習がリンクしているので、非常に面白いです。また、ケースごとに担当教員がついてくれるので、様々な考えに触れることもでき、一層学びが深まります。臨床をともしする仲間たちは、年齢も職業もルーツも多様。だからこそ多面的な意見を交わすことができています。この体験を活かし、アセスメントができる心理職として虐待防止支援に携わりたいです。

## 修了生からのメッセージ

論文指導は少人数制。

違う領域を学べたことが

実践に活かされている。

**橋口 優未** HASHIGUCHI YUMI  
勤務先：こども支援センターげんき



私が学部生だった頃は、コロナ禍の影響で実習の機会が十分に確保されていませんでした。そこで大学院進学にあたっては、実習体制が充実していることを重視しました。本研究科では「医療・福祉」「地域保健・産業」「学校・教育」の3領域すべてで実習を経験することができ、幅広い実践力を身につけられたと感じています。また、修士論文の指導は教員1名に対して学生2名という少人数体制で行われるため、丁寧できめ細やかな指導が受けられる点も大きな魅力です。現在、私はスクールカウンセラーとして勤務していますが、大学院では「学校・教育」ではなく、「医療・福祉」を実習の主領域としていました。その経験を通して、児童生徒のアセスメントにおける重要な基盤を培うことができ、現在の活動にも活かされています。

## 教員紹介（専門領域：学校・教育）

(2026年4月1日現在 在籍教員)

### 人との出会いから 学ぶことを大切に。

#### 主な担当授業

- 臨床心理学原論I
- 力動的心理療法特論 ●家族心理学特論
- 臨床心理地域援助演習I・II

#### 専門

- 発達臨床心理学
- 力動的心理療法、家族面接、子育て支援

**谷田 征子** 教授・臨床心理センター副センター長  
YATSUDA MASAKO  
臨床心理士／公認心理師



### 子どもの心の問題に 寄り添う支援を学ぶ。

#### 主な担当授業

- 臨床心理地域援助演習I

#### 専門

- スクールカウンセリング、教育・学校心理学
- 思春期の心理臨床、家族支援

**鈴木 明美** 教授 SUZUKI AKEMI  
臨床心理士／公認心理師



### 子どもの心と発達を 理解する視点を。

#### 主な担当授業

- 臨床心理面接演習I（心理支援に関する理論と実践）
- 臨床心理面接演習II・III（心理実践実習）
- 児童心理療法特論

#### 専門

- 発達心理学
- 臨床心理学、発達支援、保護者支援、子どものカウンセリング、家族面接

**岩藤 裕美** 准教授  
IWAFUJI HIROMI  
臨床心理士／公認心理師



### 理論と実践の往復を通じた 体験的な学びを。

#### 主な担当授業

- 臨床心理面接演習I（心理支援に関する理論と実践）・II
- 臨床心理学原論II ●認知行動療法特論
- 臨床心理地域援助演習I・II ●総合的事例研究演習I・II
- 臨床心理面接演習II・III（心理実践実習）

#### 専門

- 臨床心理学、教育・学校心理学、キャリア教育、認知行動療法

**軽部 雄輝** 講師  
KARUBE YUUKI  
臨床心理士／公認心理師



## 代表的な授業科目紹介

※本授業科目は2026年度の内容に基づいて掲載しています。  
2027年度入学生の授業科目については変更となる場合があります。

3領域をはじめとした  
多様な分野にわたる  
講義、演習、実習科目のうち  
一部をご紹介します。



### 臨床心理学原論Ⅰ

● 馬場 洋介 教授 谷田 征子 教授

この授業では、臨床心理学の全体像を学びます。臨床心理学とは何らかの心の問題や葛藤を持ち、苦しむ人たちに対して、心理学の知識と技術を用いて援助する学問であり実践です。臨床心理学は現代社会の要請から急速に発展してきましたが、技法を含む理論を背景に成り立っており、人の心理学的問題に専門家として関わるためには、それらの理論を理解し、幅広い知識を得ることが必要となります。この授業では、臨床心理学の歴史、臨床心理士の4つの専門業務、臨床心理学における重要な理論、および、臨床心理士の職業倫理等について概観し、心理臨床の実際について学びます。

### 臨床心理面接演習Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）

● 岩藤 裕美 准教授 軽部 雄輝 講師

この授業では、心理的な介入の際に求められる心理面接やインテーク面接の基本的な技能の習得を目指します。到達目標は、臨床心理センターでのケース担当を皮切りとして、臨床の現場で心理面接ができるようになることです。講義と小グループによるロールプレイ等を通じて、臨床心理士として心理面接を行う際の基本的なカウンセラーの在り方や、面接の始め方、クライアントの訴えの受け止め方、共感の方法、面接の展開などの技能について、段階的かつ体験的に学んでいきます。

### 事例研究実習Ⅰ・Ⅱ

● 全教員担当

臨床心理センターにおいて面接を実施しているクライアントに対する心理臨床的援助について、事例経過を的確にまとめ、スーパーバイザーだけでなく、多様な専門領域の複数の教員から多面的指導を受けることによって、心理臨床家としてのアセスメント、援助技法、心理的な理解や自己の援助内容について学びます。さらに、参加者とともに質疑応答やディスカッションを通して、事例に関して理解を深めます。事例発表を行わない場合は、他の院生の事例に積極的な意見を述べ、心理的な理解を深めます。

### 臨床心理査定演習Ⅰ

● 有富 公教 講師 江口 聡 講師

この授業では、ウェクスラー式知能検査、田中ビネー式知能検査をはじめ、その他認知機能を査定する代表的な心理検査の理論、構成、施行方法、解釈について学びます。それぞれの検査の特性について、目的、対象、検査結果の扱い方、施行方法を含めて理解するとともに、認知機能とそれに影響する心理特性について理解することを目的としています。実際に検査用具を手にしながらか講義を聞いたり、検査用具を用いて検査の一部分を施行することにより、実践的な学びを深めます。

# 授業科目

※本授業科目は2026年度の内容に基づいて掲載しています。2027年度入学生の授業科目については変更となる場合があります。

| 科目区分        |           | 授業科目                          | 授業<br>年次 | 単位数 |      |     | 備 考   |
|-------------|-----------|-------------------------------|----------|-----|------|-----|-------|
|             |           |                               |          | 必 修 | 選択必修 | 選 択 |       |
| 臨床心理学基本科目   | 共通基本科目    | 臨床心理学原論Ⅰ                      | 1        | 2   |      |     |       |
|             |           | 臨床心理学原論Ⅱ                      | 1        | 2   |      |     |       |
|             | 臨床心理査定系   | 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践) | 1        | 2   |      |     |       |
|             |           | 臨床心理査定演習Ⅱ                     | 1        | 2   |      |     |       |
|             |           | 臨床心理査定実習Ⅰ                     | 1        | 1   |      |     |       |
|             |           | 臨床心理査定実習Ⅱ                     | 1        | 1   |      |     |       |
|             | 臨床心理面接系   | 臨床心理面接演習Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)      | 1        | 2   |      |     |       |
|             |           | 臨床心理面接演習Ⅱ                     | 1        | 2   |      |     |       |
|             |           | 臨床心理面接実習Ⅰ                     | 1        | 1   |      |     |       |
|             |           | 臨床心理面接実習Ⅱ(心理実践実習)             | 1        | 1   |      |     | ※3    |
|             |           | 臨床心理面接実習Ⅲ(心理実践実習)             | 2        | 2   |      |     | ※3    |
| 臨床心理展開科目    | 臨床心理地域援助系 | 臨床心理地域援助演習Ⅰ                   | 1        | 2   |      |     |       |
|             |           | 臨床心理地域援助演習Ⅱ                   | 1        | 2   |      |     |       |
|             |           | 学校・教育臨床心理地域援助実習Ⅰ(心理実践実習)      | 1        |     | 1    |     | ※1 ※3 |
|             |           | 学校・教育臨床心理地域援助実習Ⅱ(心理実践実習)      | 2        |     | 4    |     | ※2 ※3 |
|             |           | 医療・福祉臨床心理地域援助実習Ⅰ(心理実践実習)      | 1        |     | 1    |     | ※1 ※3 |
|             |           | 医療・福祉臨床心理地域援助実習Ⅱ(心理実践実習)      | 2        |     | 4    |     | ※2 ※3 |
|             |           | 地域保健・産業臨床心理地域援助実習Ⅰ(心理実践実習)    | 1        |     | 1    |     | ※1 ※3 |
|             |           | 地域保健・産業臨床心理地域援助実習Ⅱ(心理実践実習)    | 2        |     | 4    |     | ※2 ※3 |
|             | 事例研究系     | 臨床心理学研究法                      | 1        | 2   |      |     |       |
|             |           | 事例研究実習Ⅰ                       | 2        | 1   |      |     |       |
|             |           | 事例研究実習Ⅱ                       | 2        | 1   |      |     |       |
|             |           | 総合的事例研究演習Ⅰ                    | 2        | 2   |      |     |       |
|             |           | 総合的事例研究演習Ⅱ                    | 2        | 2   |      |     |       |
| 臨床心理応用・隣接科目 | 臨床基礎系     | 医療・健康心理学(心の健康教育に関する理論と実践)     | 1        |     |      | 2   |       |
|             |           | 力動的心理療法特論                     | 1        |     |      | 2   |       |
|             |           | 認知行動療法特論                      | 1        |     |      | 2   |       |
|             |           | 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 | 1        |     |      | 2   |       |
|             | 学校・教育系    | 学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)   | 1        |     |      | 2   |       |
|             |           | 児童心理療法特論                      | 1        |     |      | 2   |       |
|             |           | 思春期・青年期特論                     | 1        |     |      | 2   |       |
|             | 医療・福祉系    | 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)    | 1        |     |      | 2   |       |
|             |           | 神経心理学特論                       | 1        |     |      | 2   |       |
|             |           | ソーシャルワーク特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)  | 1        |     |      | 2   |       |
|             |           | 発達心理学特論                       | 1        |     |      | 2   |       |
|             | 産業・保健系    | 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開           | 1        |     |      | 2   |       |
|             |           | 産業・労働分野に関する理論と支援の展開           | 1        |     |      | 2   |       |
|             |           | 家族心理学特論                       | 1        |     |      | 2   |       |
| 総合          | 総 合       | 臨床心理学特別演習                     | 2        | 2   |      |     |       |

※1 学校・教育臨床心理地域援助実習Ⅰ(心理実践実習)／医療・福祉臨床心理地域援助実習Ⅰ(心理実践実習)／  
地域保健・産業臨床心理地域援助実習Ⅰ(心理実践実習)より領域を2単位以上選択必修

※2 学校・教育臨床心理地域援助実習Ⅱ(心理実践実習)／医療・福祉臨床心理地域援助実習Ⅱ(心理実践実習)／  
地域保健・産業臨床心理地域援助実習Ⅱ(心理実践実習)より領域を4単位以上選択必修

※3 心理実践実習は合計450時間の学修時間

## 帝京平成大学臨床心理センター

### 【概要】

学内臨床実習のための附属施設として、「臨床心理センター」が併設されています。池袋キャンパスMiNoRiラボ2階に位置し、月曜日～土曜日まで毎日開室し、広く一般の方からの相談を受け付けています。6つの面接室、4つのプレイルームを備え、箱庭療法、遊戯療法、心理検査等、多様な心理相談に応じられる設備があります。帝京大学医学部附属病院をはじめとする近隣の医療機関、豊島区の相談機関、地域の学校などからのご紹介も多く、幅広い年齢層の方々が来室されて、連日、活発な相談活動が行われています。

### 【指導体制】

「臨床心理センター」の専任スタッフは、本大学院専任教員に加えて、専任カウンセラー4名によって構成されており、本大学院生の学内臨床実習のスーパービジョンを手厚く行うことのできる体制となっています。専任スタッフは全て、臨床心理士、公認心理師、精神科専門医、精神保健福祉士等の資格を持つ臨床経験豊富な実務家です。本大学院生は、臨床の現場で、専任スタッフからマンツーマンの指導を受けながら、実際にクライアントを担当し、心理相談・遊戯療法・心理検査の経験を積んでいきます。全ての臨床心理行為の基本である有料の個人心理療法にしっかりと取り組むことで、修了後、様々な領域で活動する際のベースとなる経験を得ることができます。



### 教員紹介

関係性の中で、心が変化していく  
プロセスの支援を。

准教授・臨床心理センター主任

久野 晶子 KUNO AKIKO 臨床心理士／公認心理師

専門領域・  
研究分野

●メンタライジング・アプローチ、統合的心理療法、  
心理臨床スーパービジョン

主な担当授業

●臨床心理面接実習Ⅰ ●臨床心理面接実習Ⅱ・Ⅲ (心理実践実習)  
●事例研究実習Ⅰ・Ⅱ



個性や可能性を大切に  
丁寧な心理支援ができる専門家に。

助教 本島 京子 MOTOJIMA KYOKO

臨床心理士／公認心理師

専門領域・  
研究分野

●医療(精神科、児童精神科)領域における心理支援・心理療法  
●夢やイメージを使った心理療法

主な担当授業

●事例研究実習Ⅰ・Ⅱ ●臨床心理面接実習Ⅱ・Ⅲ (心理実践実習)



心理的支援の本質の理解と  
学びを目指して。

講師 三浦 亜子 MIURA AKO

臨床心理士／公認心理師

専門領域・  
研究分野

●臨床心理学、個人心理療法、思春期・青年期・中高年の心理

主な担当授業

●事例研究実習Ⅰ・Ⅱ ●臨床心理面接実習Ⅱ・Ⅲ (心理実践実習)



自分の内側の感覚を大事に、  
細やかな臨床を。

助手 篠田 亜美 SHINODA AMI

臨床心理士／公認心理師

専門領域・  
研究分野

●臨床心理学・イメージを用いた心理療法・学生相談・  
心理療法における身体性



## サポート

### 〔学生サポート〕

**充実した学生生活を送ることができるように、本研究科専用の学修施設、様々なフォロー体制を準備しています。**

池袋キャンパスMiNoRiラボには、臨床心理学研究科専用の院生室や、池袋キャンパスMiNoRiセントラルにあるメディアライブラリーセンターとは別に図書室を設置しています。また、奨学金制度を設け、本大学院生の支援をしています。さらに、修了後も臨床経験を積んで実践力を磨きたいと希望する修了生に対しては、「特別研修員制度」を設け、付属機関の臨床心理センターにおいて臨床活動を継続することができます。

### 〔学修サポート〕

**臨床心理士・公認心理師資格試験を、自信をもって受けられる手厚いサポート体制です。**

臨床心理士に加えて、2018年度から公認心理師試験受験資格にも対応した授業を行っています。臨床心理士・公認心理師の資格試験対策として、模擬試験や対策演習を実施。資格試験対策として教員が分野別に講義を行うほか、模擬試験では教員がオリジナルの問題を作成し、模擬面接を受験することもできます。さらに、本研究科修了後に臨床心理士・公認心理師資格試験の受験予定者へのフォローアップの講義も実施し、学生たちの熱意にしっかりと応えます。

### 〔就職サポート〕

**納得感のある就職活動を実現できるように、本学就職支援室と連携した様々な就職支援を実施しています。**

就職支援室と連携して1年次から支援をします。1年次の前期に就職ガイダンスを行い、就職活動に関する基本的知識等を学びます。そして、2年次には実践的な就職セミナーを開催します。実際の就職活動では、メーリングリストで求人情報の共有も行い、キャリアコンサルタント資格を有する教員からの支援も行います。院生と修了生の交流会では、修了生からの職場の情報共有もあり、キャリアに対する意識醸成もしています。

## 2027年度納付金

… 社会人入学者で、通常2年のところ3年かけて修了をしたいと希望する者（授業料2年分を概ね3等分）

※長期履修学生制度を希望する場合、出願時のみ受け付け可能であり、途中で変更は出来ません。

本制度を利用し3年間在籍する場合、施設設備整備費は3年分をご納付いただきます。

(単位:円)

|     | 区 分  | 入学金     | 授業料     | 施設設備整備費 | 学生傷害保険料 | 合計(年間)    |
|-----|------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 1年次 | 通 常  | 200,000 | 760,000 | 420,000 | 1,750   | 1,381,750 |
|     | 長期履修 | 200,000 | 520,000 | 420,000 | 2,600   | 1,142,600 |
| 2年次 | 通 常  | —       | 760,000 | 420,000 | —       | 1,180,000 |
|     | 長期履修 | —       | 500,000 | 420,000 | —       | 920,000   |
| 3年次 | 長期履修 | —       | 500,000 | 420,000 | —       | 920,000   |

※学内出身者は入学金を免除します。(教科書等については、別途費用がかかります。)

※「授業料後払い制度」が利用できます(入学時、納付金を後払いにしたい場合は、出願時に申込みが必要です)。詳しくはHPをご確認ください。

## 専門実践教育訓練給付金

本学臨床心理学研究科 臨床心理学専攻(専門職大学院)は、社会人ならびに社会人経験者の皆さまのキャリアアップを支援するため、「専門実践教育訓練給付制度」の対象講座として指定を受けております。(2021年4月入学生より適用。2029年9月末まで有効)。

本制度は一定の条件を満たす、雇用保険の被保険者(※)(在職者)または被保険者であった方(離職者)が、支払った経費の一部を、公共職業安定所から給付金を支給されることが可能になる制度です。この制度を利用することで、本学臨床心理学専攻の2年間に必要な総負担経費の約5割にあたる、最大128万円が支給されます。

詳細は、厚生労働省のHPをご覧ください。

※被保険者とは、一般被保険者及び高年齢被保険者をいいます。

| 項 目        | 内 容                                     |
|------------|-----------------------------------------|
| 受講中の給付金 ※1 | 教育訓練経費の50% (年間上限40万円)                   |
| 修了後の給付金 ※2 | 教育訓練経費の20% (年間上限16万円)                   |
| 追加給付金 ※3   | 教育訓練経費の10% (年間上限8万円)                    |
| 最大給付額      | 教育訓練経費の最大80%<br>(訓練期間2年制の講座の場合は上限128万円) |

※1 一定期間、雇用保険の被保険者または被保険者であった受講者が、自ら費用を負担して厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合

※2 課程を修了し、その訓練に係る資格を取得し、かつ、受講修了日の翌日から起算して1年以内に被保険者として雇用された場合または既に雇用されている場合

※3 訓練修了後の賃金が受講開始前の賃金と比較して5%上昇した場合

## 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は国の育英奨学事業を行っている機関で、高度の研究能力を有し、経済的理由により修学に困難があると認められる学生に奨学金を貸与しています。詳細は、日本学生支援機構サイトをご覧ください。

詳しくはコチラ



## 学内出身者優遇制度

**学内出身者のうち、I期において成績優秀な方には、本学の専門職大学院進学時に以下の学費減免特典制度があります。**

■ 最優秀者は専門職大学院の2年間にわたり授業料を半額減免

■ 優秀者は専門職大学院の2年間にわたり授業料300,000円/年を減免

## 入学者選抜概要

### 1 専門職大学院 臨床心理学研究科 臨床心理学専攻 専門職学位課程 入学者選抜日程

| 選抜区分 | 出願期間(出願期間内必着)                | 試験日            | 合格発表日          | 入学手続締切日        |
|------|------------------------------|----------------|----------------|----------------|
| I期   | 2026年7月24日(金)～2026年8月10日(月)  | 2026年8月27日(木)  | 2026年8月29日(土)  | 2026年9月12日(土)  |
| II期  | 2026年9月10日(木)～2026年10月9日(金)  | 2026年10月24日(土) | 2026年10月30日(金) | 2026年11月13日(金) |
| III期 | 2026年11月2日(月)～2026年11月30日(月) | 2026年12月12日(土) | 2026年12月15日(火) | 2026年12月25日(金) |
| IV期  | 2027年1月5日(火)～2027年1月29日(金)   | 2027年2月14日(日)  | 2027年2月17日(水)  | 2027年3月3日(水)   |

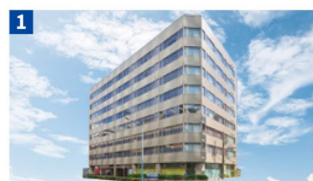
### 2 選考方法 筆記試験・面接・書類審査などで総合的に判定します。 ※詳細は入学者選抜要項でご確認ください。

|      |                                    |    |                                |      |
|------|------------------------------------|----|--------------------------------|------|
| 筆記試験 | ①小論文<br>②英語：辞書は大学より貸与<br>③専門科目：心理学 | 面接 | 小集団討論と個別面接を行い、適性や動機等について評価します。 | 書類審査 |
|------|------------------------------------|----|--------------------------------|------|

### 3 専門職大学院公開授業・進学説明会

|     | 日 時                        | 場 所                                   | プログラム                                   |
|-----|----------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------|
| 第1回 | 2026年7月4日(土) 10:00～12:00   | 池袋キャンパス<br>MiNoRiセントラル<br>(東池袋2-51-4) | ●大学院概要説明<br>●入試概要説明<br>●模擬授業<br>●個別進学相談 |
| 第2回 | 2026年9月5日(土) 10:00～12:00   |                                       |                                         |
| 第3回 | 2026年11月14日(土) 10:00～12:00 |                                       |                                         |

## 施設紹介・ACCESS



#### 1 MiNoRiラボ

池袋キャンパスMiNoRiセントラルから徒歩10分程度の距離にある建物です。授業や演習の多くはMiNoRiラボの講義室において実施されます。臨床心理センター、講義室、院生室、研究室、図書室があります。



#### 3 院生室

臨床心理学研究科専用の院生室です。自習用の机、共同学修を行うためのミーティングテーブルが設置されています。また、学内LANに接続されたパソコン、プリンター等のOA機器も完備しています。



#### 5 図書室

MiNoRiラボの図書室には本研究科における講義、演習、臨床実習等を進める上で不可欠な、専門性の高い和書、洋書、映像資料等を所蔵しています。



#### 2 講義室

少人数の相互学修に適したスペースを有しており、同時に、マルチメディアシステムを活用した先進的な授業を行うことができます。



#### 4 研究室

専任教員の研究室があり、本大学院生に対する指導が行われています。



#### 6 池袋キャンパス メディアライブラリーセンター

池袋キャンパスMiNoRiセントラル(2F)にあり、幅広い領域の充実した開架図書、閲覧スペース、演習室等があります。



#### 帝京平成大学 池袋キャンパス MiNoRiセントラル

〒170-8445 東京都豊島区東池袋2-51-4

#### 帝京平成大学 池袋キャンパス MiNoRiラボ

〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-26-10

#### 帝京平成大学 池袋キャンパス MiNoRiネスト

〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-26-3

#### 池袋キャンパス

